



ピロリ菌

Q & A



Q. どのくらいの人がピロリ菌に感染しているのですか？

A 現在の日本の人口1億2600万人に対して、3500万人が感染していると言われています。ですから、3.6人に1人はピロリ菌に感染していることになります。

Q. ピロリ菌の感染率は、年代によって違いがありますか？

A 年齢によって違い、年齢が上がるにつれて感染率も上がります。10代の感染率は5%、40代で20%、60代以上の高齢者は60%以上の感染率です。

50
以上



Q. ピロリ菌に感染していると自覚症状はありますか？

A ピロリ菌に感染すると必ず胃炎になりますが、胃炎だけでは殆ど無症状です。潰瘍や進行した胃がんなどにならない限り症状を自覚できないことが殆どです。

Q. 自分がピロリ菌に感染している場合、家族にも感染する危険性がありますか？

A ピロリ菌は5歳位までに家庭の中で感染すると言われています。ご自身が感染している場合、両親・子供も感染している可能性があります。子供が陽性の場合、両親のどちらかが陽性であることが殆どですが、両親が陽性で子供に感染する確率は10%以下です。



Q. ピロリ菌検査は、どのくらいの時間がかかりますか？

A 当院では尿検査で感染しているかどうかを調べます。所要時間は30分程度です。もし結果が『陽性』となった場合、当院の消化器内科外来を受診予約出来ます。

Q. 除菌療法はどのように行うのですか？

A 抗生物質2種類と胃酸を抑える薬剤・整腸剤などを1週間、朝と夕に服用します。服用が終了してから約2ヶ月後に除菌ができたかどうか呼気検査で調べます。



Q. 除菌療法による副作用はありませんか？

A 軟便や下痢・味覚障害等がありますが、多くは自然に軽快する軽度なものです。抗生剤など薬剤にアレルギーがある場合は、必ず申し出てください。

Q. 除菌療法の成功率はどのくらいですか？

A 最新の薬剤の組み合わせでは約90%の成功率です。1回目の除菌が失敗しても2回目までは保険診療が可能であり、2回目の成功率は約95%となります。

Q. 除菌療法によって『胃がん』はどこまで予防できますか？

A 20歳未満で除菌すると殆ど予防できると考えられ、40歳まででも90%近く、それ以降の年齢でも40%くらいまで胃がんを減らすことができます。

重要!